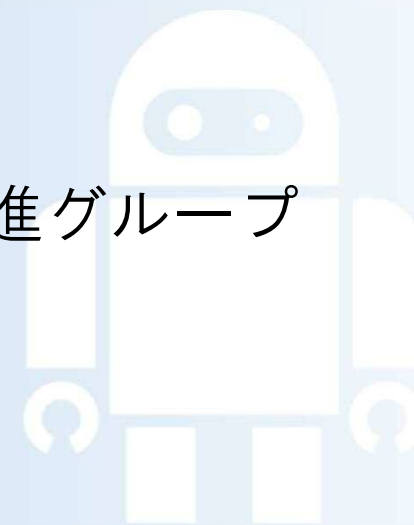


# 行政事務の効率化に向けたRPA 試行導入業務の結果報告 【まとめ】

愛知県総務局総務部総務課行政改革推進グループ

2020年2月



## ■ RPA試行導入の結果のまとめ

RPAソフト ①～③：WinActor  
④～⑥：SynchROID

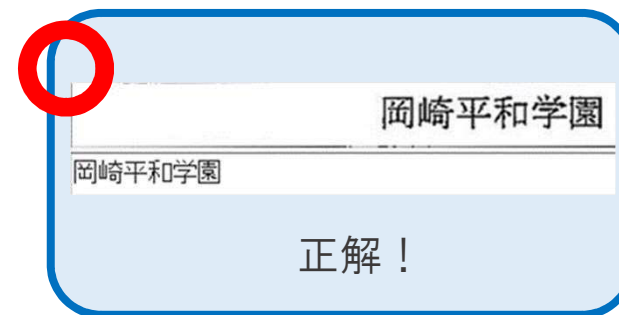
- 全ての業務で削減効果があった（年間換算削減時間6業務合計851.7時間）。
- 導入した業務により削減率に差が生じた（削減率 最大99% 最小10%）。

業務名	導入前	導入後	削減時間(率)	年間換算削減時間
①労働関係ポケットデータ作成業務	560分/回	500分/回	60分/回 (11%)	12.0時間 (60分×12か月)
②財務・資産系システムの残高照合業務	1100分/回	10分/回	1090分/回 (99%)	363.3時間 (1090分×20回)
③道路等占使用許可業務	65分/件	55分/件	10分/件 (15%)	42.8時間 (10分×257件)
④証紙出納計算書の集計業務	15分/件	5分/件	10分/件 (67%)	324.0時間 (10分×162件×12か月)
⑤メール作成業務	180分/月	10分/月	170分/月 (94%)	34.0時間 (170分×12か月)
⑥児童措置費支弁金業務	60分/件	54分/件	6分/件 (10%)	75.6時間 (6分×63施設×12か月)

# 【参考1】OCRによる紙資料の読み取り

## 取組概要

業務名	⑥児童措置費支弁金業務
紙資料	福祉施設から提出される請求書及び内訳書
読取項目数	3,848項目(104項目×37施設)

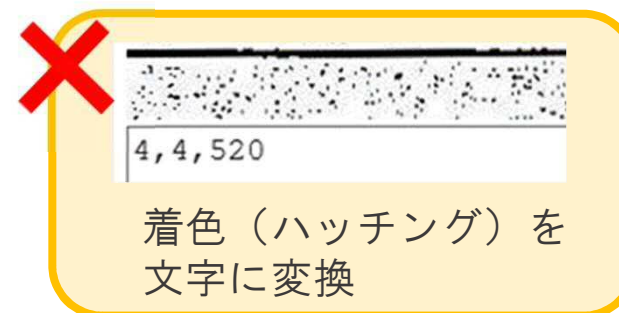
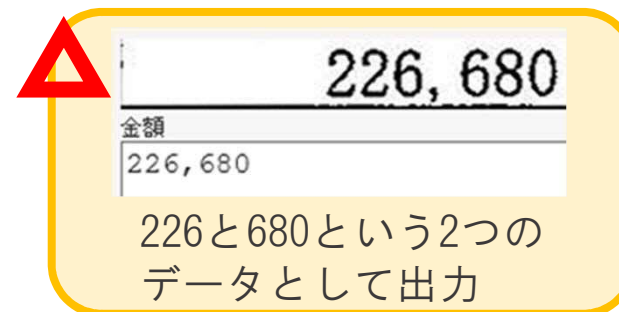


## 読み取り精度

71.3% (正解2,745項目) ※カンマを除去した後の精度

## 課題

- 桁区切りのカンマがCSV出力の際に、データ区切りのカンマと処理される
- 記入欄の狭さや、印刷のズレ、セルの着色が、認識精度を下げる原因となる



OCRで読み取りやすいよう様式等を見直すことで、読み取り精度の向上が期待できる

## ■【参考2】職員によるシナリオ作成

6業務への試行導入以外に、職員によるシナリオ作成の可能性について検証を行った。

担当した職員の感想は「やってみれば、意外とできる!」

### ■業務概要「防疫検査手当の過年度追給」

防疫検査手当の加算が2019年12月議会で可決され、2019年2月分から遡って追加給付を行う必要が生じ、過年度分（3,953件）を、職員が1件ずつ計算し、財務システムに登録する必要があった。

### ■業務手順

- ① エクセルで一覧表を作成
- ② 財務システムに、債権者コード・支出命令額・控除額を転記
- ③ ②を3,953件分繰り返す

RPAで自動化

### ■RPA導入効果 ※職員によるシナリオ作成時間 約6時間

業務名	導入前	導入後	削減時間	年間換算削減時間
過年度追給	43秒/件	0秒/件	43秒/件	47.2時間 (43秒×3,953件)

### ■シナリオ(一部)



## ■ 考察

### ■ より大きな削減効果を上げるためには

- RPAに適す業務の見極めが必要（業者に相談できる体制）。
- RPA導入に先立ち、業務プロセスの抜本的な見直しが必要（BPRの実施）。

### ■ 全庁展開を進めるには

- 業者の協力が不可欠（シナリオの作成は難易度が高く、当面は業者に依頼、職員研修を実施し、段階的に職員のRPAスキルの向上を図り、将来的には職員自ら作成）。
- 職員が利用しやすい環境の整備が必要（自席PCからの操作、時間外の自動実行など）。
- 職員へのRPAの周知が必要（説明会や報告会等の実施）。

### ■ 資料の読み取りの効率化について

- 紙資料の読み取りにOCRは有効なツールである。必要に応じて、様式等を見直すことで、読み取り精度の向上が期待できる。
- さらなる効率化を進めるためには、紙資料の電子化ではなく、電子申請への移行が必要。

